

【听译】 星色夜空



星が広がる空
一人立ち止まって
伝えられずにいる
この想い 見上げて

广阔星空下
一个人驻足
传达不到的思绪
仰头许下心愿

目に見える物は
全部 愛おしくて
耳に届く音は
何もかも 美しい

眼中映入的事物
全部都如此可爱
耳中传入的声音
句句都如此美丽

星を 線で結んで
君を描いて
瞳 の中に 映した
いつも 強がる
私は突っぱねて
本当は 君が居ないと
駄目なのに

用线条将星星连起来
画出你的样子
牢牢记在眼中
一直在 逞强的
我一直在抗拒
其实 没有你
就完全不行

远く 远く 続いてる空
その向こうで 君は 何
想う
いつか消える あの星の
下
永远を愿い 想い 見上げ

向远方延展的夜空
那一端的你 在想什么
不知何时会消失的 那颗
星下
但愿人长久 许下心愿

強く 弱く 光を放つ
君の近くに 北斗七星
そんな 輝きであるよう
に
君を想い 願い掛けて

忽强忽弱 闪烁亮光
你的附近 有北斗七星
就像那星的耀眼
带上我对你的想念

夜が明けていく
君を想えなくなる
朝が来る頃には
また強がってしまう
微かな光は
もっと爱おしくて
朝へ向かう音に
耳を固く 塞ぐ

夜渐渐破晓
想你的时间将尽
迎来早晨的时候
又要逞强起来
细微的光亮
愈发变得爱惜
对着破晓的声音
严实地堵上耳朵

时を止めて夜が続いてく
魔法が
この手に あればいいの
に
本当は君と居るときも
同じように
ずっと 思っているのに

如果有能让时间停止继续
夜晚的魔法
在我手上的话就好了
其实和你在一起的时候
也是一样
一直在想着你

長く 永く 続いてる夜
この暗の中で 君を想う

夜晚永远持续下去
这片黑暗中 在想着你

いつも隠して持ち歩いた
君がくれた人形見つめ

一直藏在身边随身带着
盯着你给我的人偶

弱く 強く 何度も 君
の
名前を 繰り返し 呼ん
でいる
よく間違えては怒られた
覚え難い 愛しい名前

细声地大声地 无数次
翻来覆去呼喊你的名字
经常搞错惹你生气
很难记的 喜欢的名字

远く 远く 続いてる空
その向こうで 君は 何
想う
いつか消える あの星の
下
永远を願い 想い 見上げ

向远方延展的夜空
那一端的你 在想什么
不知何时会消失的 那颗
星下
但愿人长久 许下心愿

強く 弱く 光を放つ
君の近くに 北斗七星
そんな 輝きであるよう
に
君を想い 願い掛けて

忽强忽弱 闪烁亮光
你的附近 有北斗七星
就像那星的耀眼
带上我对你的想念

这首魔理莎和爱丽丝的「星色夜空」用词都比较简单，就只放注音版吧。只不过翻译的时候，译着译着还在想，歌词中提到两人分处两地的思念，会不会不仅仅是远距离，而是宿命论下的阴阳两隔呢？

ほし ひろ そら
星が 広がる 空
ひとり た ど
一人 立ち止まって
つた
伝えられずにいる
おも みあ
この 想い 見上げて

め み もの
目に見える 物は
ぜんぶ いと
全部 愛おしくて
みみ とど おと
耳に届く 音は
なに うつく
何もかも 美しい

ほし せん むす
星を 線で 结んで
きみ えが
君を描いて
ひとみ なか うつ
瞳 の中に 映した
いつも つよ
いつも 強がる
わたし つ
私は 突っぱねて
ほんとう きみ い
本当は 君が居ないと

だめ
駄目なのに

とお とお つづ そら
遠く 遠く 続 いてる 空
む きみ なに おも
その 向 こうで 君 は 何 想 う
き ほし した
いつか 消 える あ の 星 の 下
とわ ねが おも みあ
永 遠 を 愿 い 想 い 見 上 げ

つよ よわ ひかり はな
強 く 弱 く 光 を 放 つ
きみ ちか ほくとしちせい
君 の 近 くに 北 斗 七 星
かがや
そ ン な 輝 き で あ る よ う に
きみ おも ねが か
君 を 想 い 愿 い 挂 けて

よる あ
夜 が 明 けて いく
きみ おも
君 を 想 え な く な る
あさ く ころ
朝 が 来 る 頃 に は
つよ
ま た 強 が っ て し ま う
かす ひかり
微 かな 光 は
いと
も っ と 愛 お し く て
あさ む おと
朝 へ 向 か う 音 に
みみ かた ふさ
耳 を 固 く 塞 ぐ

とき と よる つづ まほう
時を止めて夜が続いてく魔法が
この手に あればいいのに
ほんとう きみ い おな
本当は君と居るときも 同じように
ずっと おも
ずっと 思っているのに

なが なが つづ よる
長く 永く 続いている夜
この やみ なか きみ おも
この暗の中で 君を想う
いつも かく も ある
いつも 隠して持ち歩いた
きみ にんぎょう み
君がくれた人形 見つめ

よわ つよ なんと きみ
弱く 強く 何度も 君の
なまえ く かえ よ
名前を 繰り返し 呼んでいる
よく まち おこ
よく 間違えては怒られた
おぼ にく いと なまえ
覚え難い 愛しい名前

とお とお つづ そら
遠く 遠く 続いている空
その む きみ なに おも
その向こうで 君は 何想う
いつか き ほし した
いつか 消える あの星の下
とわ ねが おも みあ
永遠を願い 想い 見上げ

つよ よわ ひかり はな
強く 弱く 光を放つ

きみ ちか ほくとしちせい
君の近くに 北斗七星

そんな かがや きであるように

きみ おも ねが か
君を想い 願い掛けて